

<目的>

入居者の嗜好や要望、現在の食事満足度を知り、食事提供方法へフィードバックを行い、食事の満足度を向上させることを目的に行う。

<聞き取り調査期間>

令和2年7月20日

<対象>

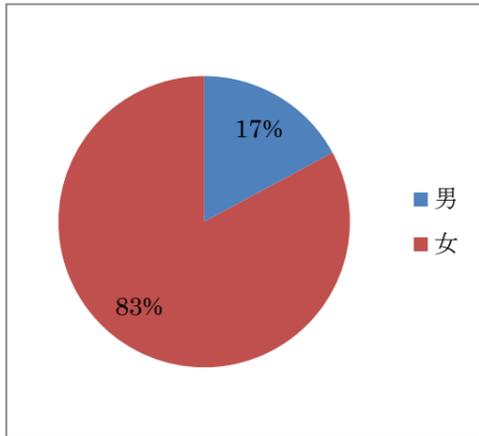
F5～F7の入居者様60名のうち、聞き取り可能であった方35名 ※回収率 58.3%

<方法>

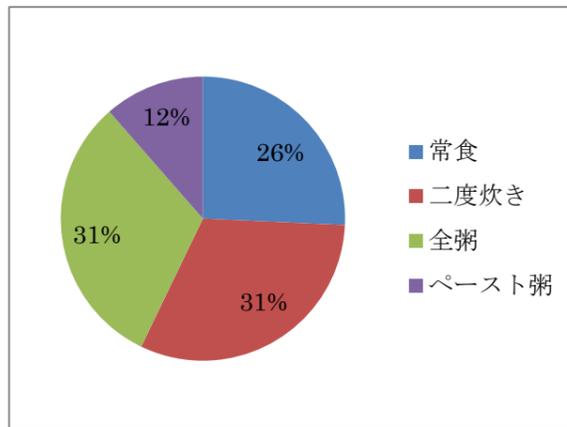
聞き取りアンケート

～ 特別養護老人ホームグッドライフ熊本駅前入居者様について ～

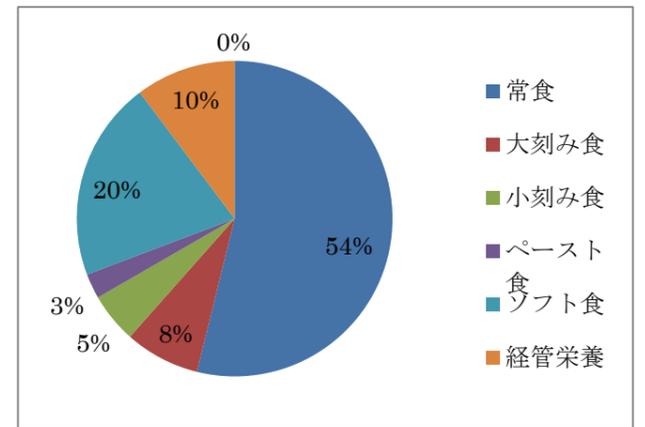
< 男女比 >



< 主食形態 >

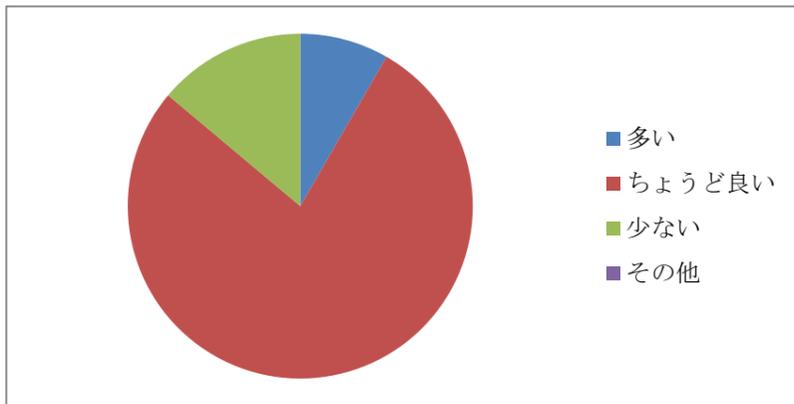


< 主菜・副菜形態 >

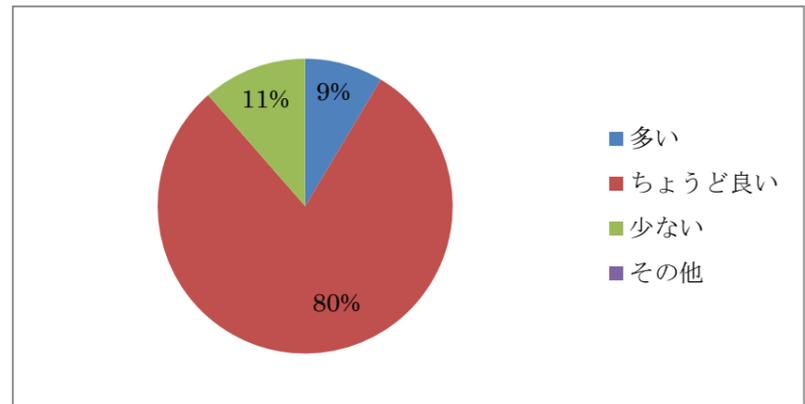


A. 食事量について

①ご飯、お粥の量はどうか？

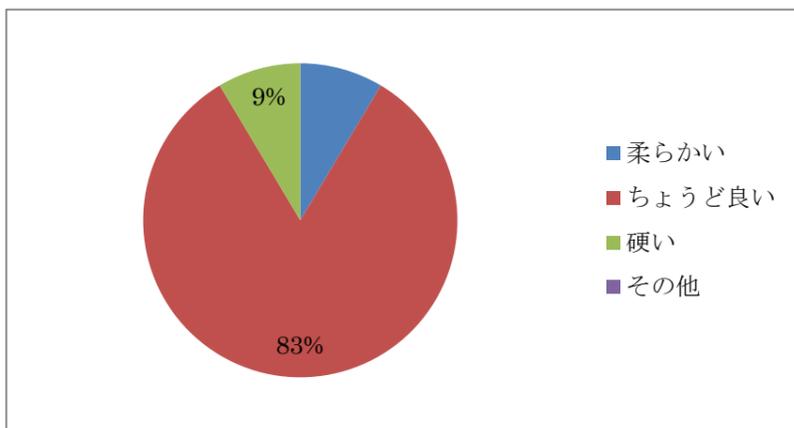


②おかずの量はどうか？

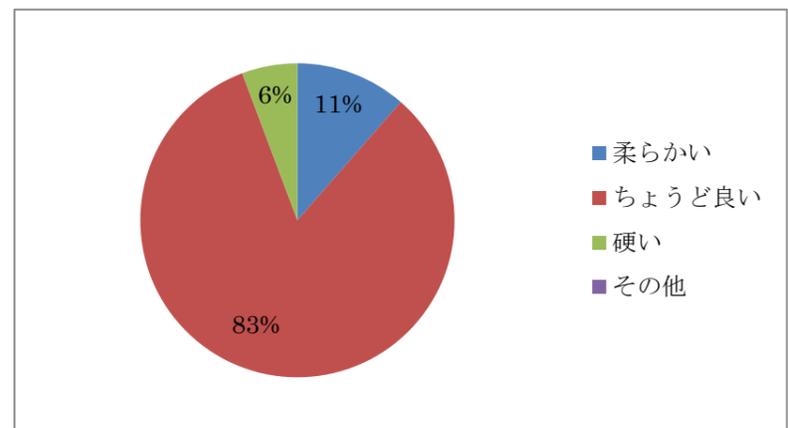


B. 食事の硬さについて

①ご飯、お粥の炊き加減はどうか？

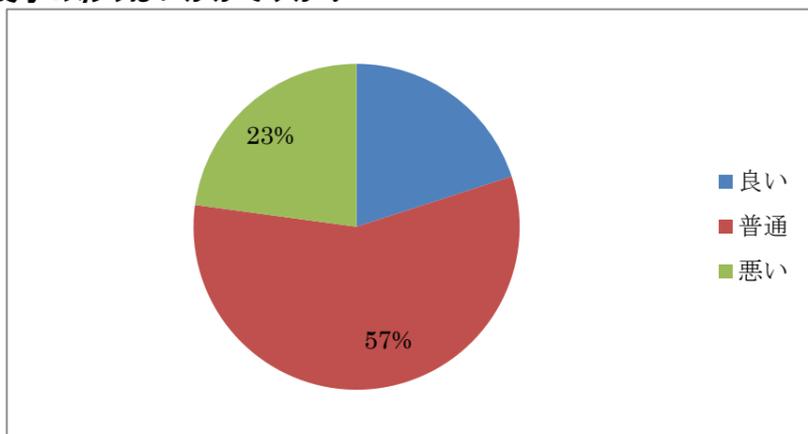


②おかずの硬さはどうか？

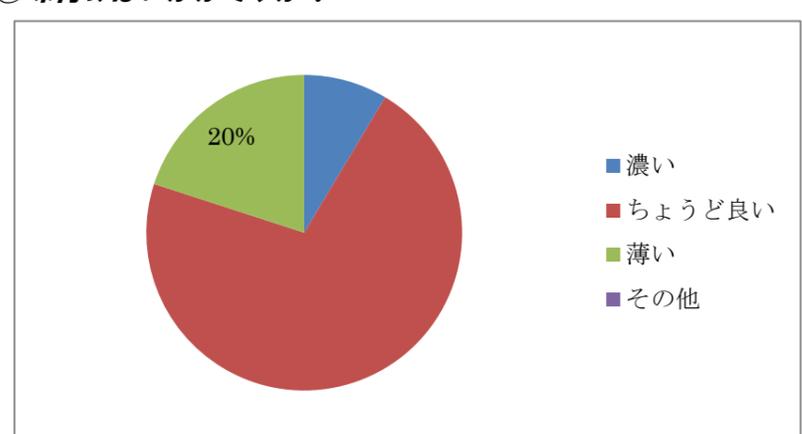


C. 彩り・味付けについて

①食事の彩りはいかがですか？

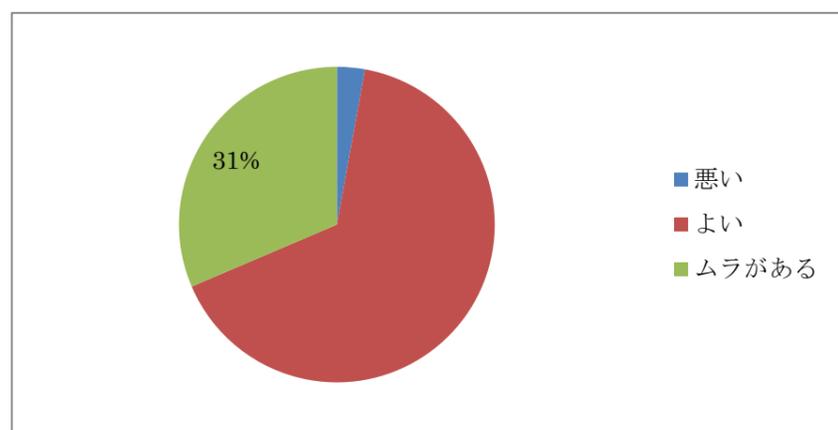


②味付けはいかがですか？

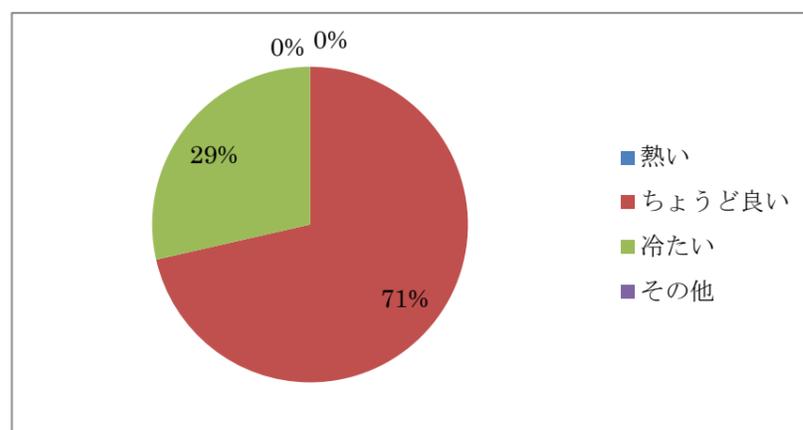


D. ユニット配膳について

①盛り付け方はどうですか？

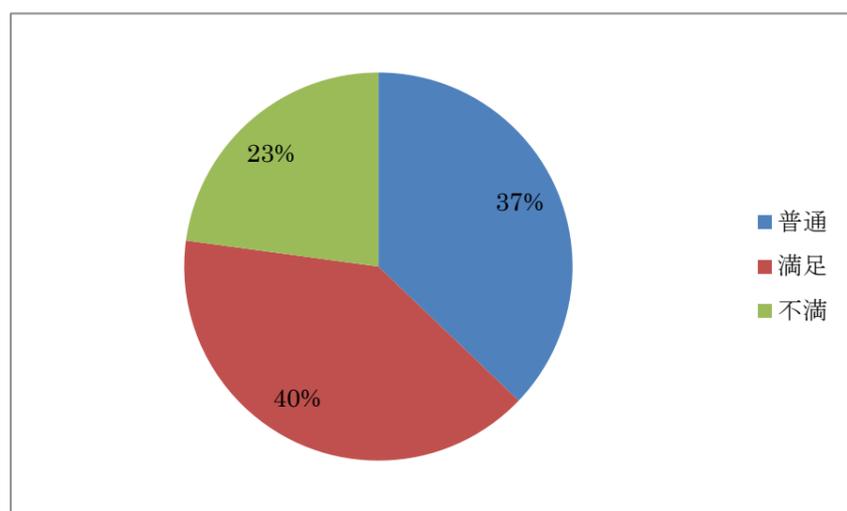


②食事の温度はいかがですか？



E. 全体的なこと

①毎日の食事にまんぞくされていますか？



②美味しかったもの、苦手だったものを教えてください

- 美味しかったもの
カレーライス、イベント食、うどんやスパゲッティ等の麺類
えび天ぷら、いなり寿司、果物、パイナップル、甘酒、パン、
お肉料理、すきやき、かぼちゃ、
- 苦手だったもの
お好み焼き、野菜、きゅうり、硬いもの、酸っぱいもの、苦いもの、
牛蒡、中華料理、青魚、小ネギ、

③提供して欲しい料理、おやつを教えてください

- 提供して欲しい料理
焼きそば、果物、黒棒、羊かん、甘いもの、えびせん、ふりかけ
納豆、酢の物、甘酒、たくあん、梨、おしるこ、煮付け、白飯
赤飯、うどん、ちゃんぽん、すきやき、鰻、

④その他、ご意見

- ご飯が足りない時があります。
- ご飯が美味しくないです。
- 猫舌なので、熱いものは食べられません。
- 栄養満点なので、満足しています。
- ここの食事は大好きです。
- もうちょっとゼリー食の味を濃くして欲しい。
- 手掴みで食べれるものを提供してほしい。
- ご飯が少ないから、おかずの量を減らして欲しい。
- 食べるのに時間がかかるから食事が冷たくなってしまいます。

～ まとめ ～

特別養護老人ホームグッドライフ熊本駅前には、要介護度2から要介護度5の方が入居しておられます。(平均要介護度4.0)その中で常食を食べておられる方が全体の54%、主食に米飯を食べておられる方が26%です。

食事の量について、体重増加のため主食量を制限されている方からは「ご飯をもっと食べたい」との意見も聞かれました。体重の増えすぎは健康に良くありませんが、御本人様と御家族の方の御意向を伺い、ご飯の量について検討したいと思えます。「多い」と回答された方については今後、その方の摂取量を確認していき、食事摂取量が低い方については栄養補助食品を付加する等の検討を行っていきたいと思えます。

食事の硬さについて、ほとんどの方が「ちょうど良い」との回答でした。「硬い」と回答された方については、言語聴覚士等とその方に合った食事形態を検討していきたいと思えます。また、食材によって硬いと感じられるメニューでも、ユニット内で刻む等して対応できているという話も聞くことができました。

グッドライフ熊本駅前では日本人食事摂取基準に基づいて、1日の塩分量を平均8gとした食事を提供しています。味覚には個人差があるため、個人の調味料やユニットでかける別添えのソース類の量を調整していただきながら、その方が好む味付け、味の濃さで提供できればと思えます。

また、グッドライフ熊本駅前ではユニット配膳を取り入れています。厨房で配膳したものをユニット職員が温め、盛り付けを行います。ユニット配膳について入居者様に尋ねたところ、「たまに食事が冷めていることがある」との意見が聞かれました。しかし、話を伺うと「その都度、温めてもらっています」と、適温で召し上がっていただけているようでした。このように、個人の要望に応えることができるところが、ユニット配膳のメリットであり、現在それができていると思えます。

食事の満足度については「満足」と回答された方が40%でした。(前回調査では59%)「不満」と回答された方は、「もっとご飯が食べたい」「冷小鉢が冷たすぎる」との意見でした。今回のアンケートの結果を、その方に合った食事形態や食事内容の見直しにより、入居者様にフィードバックさせていきたいと思えます。

アンケートの御協力、ありがとうございました。